

1969(昭和44)年11月創刊

2024(令和6)年 7月 19日(金) 14409号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL : 06-6353-7831
 FAX : 06-6353-7832
 MAIL : metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB : https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 79,200円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 39,600円 6か月 46,200円



亜鉛建値は3万円引き下げの49万3,000円 7月の月内建値平均は51万1,800円

三井金属鉱業は18日、電気亜鉛建値を3万円引き下げの49万3,000円にすると発表、同日より実施した。7月の月内建値平均は51万1,800円。

7月18日に入電した直近のLME亜鉛相場前場売値は2,819.00ドル。18日の東京市場の米ドルTTSレートは156.86円。

この値で換算した採算価格は、44万2,100円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万900円になる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2024年

2月…	433(1) 418(6) 403(9) 409(16) 418(26)	平均414.8
3月…	418(1) 424(6) 430(11) 439(14) 436(19)	平均431.7
4月…	421(1) 442(4) 466(9) 493(12) 496(17)	平均477.1
	523(23)	

5月…	502(7) 508(10) 523(15) 526(20) 532(23)	平均521.1
6月…	523(3) 499(6) 496(11) 499(14) 496(19)	平均501.6
7月…	526(1) 535(4) 526(9) 523(12) 493(18)	平均511.8

アルミニウム地金
 アルミニウム原料
 熟練ポット炉技術で歩留まり UP!
井関金属株式会社
 代表取締役 柳 一根
 〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407
 ☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667

豪州 鉱山・PJT休止相次ぐ ニッケル価格下落 JOGMEC カレント・トピックス

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(高原一郎理事長)はこのほど、カレント・トピックス「豪州におけるニッケル価格の下落に伴う鉱山・プロジェクトの休止」を公表した。ニッケル価格が2023年から急激に低下したことに伴い、ニッケルの鉱山やプロジェクトの経済性が悪化し、休山や休止が相次いでいる。レポートでは、その背景や影響、政府の対応などについて、ニッケル価格の変動に伴う豪州ニッケル産業の動向と合わせて考察。シドニー事務所、ワットモア康子氏の報告の概要を紹介する。

<はじめに>

1. 豪州におけるニッケル産業

豪州に賦存するニッケルは、豪州地質調査所(Geoscience Australia)の「経済的実証資源量」(Economic Demonstrated Resources: EDR1)によると、2019年に21.2百万tとなり、同年の世界における

ニッケル資源量の約23.5%を占めた。2022/23年度の豪州の鉱山におけるニッケル生産量(純分)は153千t、中間材料や地金も含めた輸出量は161千tとなった。

(次頁へつづく)

KYOWA
 関東・関西に2箇所ある生産拠点の強み
 電線のことなら協和電線工業にお任せください

協和電線工業株式会社
 KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO., LTD.

本社・本社工場 〒581-0026 大阪府八尾市曙町1丁目7番地
 TEL (072)991-0818(代) FAX (072)991-4470
 千葉工場 〒289-0114 千葉県成田市成井925番地

豪州では、ニッケルのEDRの96%がWA州、残りの大半がQLD州の資源量で占められているため、ニッケルの鉱山操業やプロジェクトはそのほぼ全てがWA州で行われている。

2. ニッケル価格の変動(図1)とニッケル事業の動き



図1. 2016年1月～2024年3月のLME ニッケル価格推移

出典：豪州資源産業科学資源省 Resources and Energy Quarterly 2024 March

ロンドン金属取引所(LME)のニッケル価格は、2016年の10,000US\$/t前後から緩やかに上昇を続け、2022年初頭には20,000US\$/tとなった。その後、2022年3月にロシアのウクライナ侵攻を背景に50,000US\$/tにまで高騰したものの、これは一時的なもので終わり、同月～2023年3月の1年間は概ね25,000US\$/t前後を維持した。

この間、豪州のニッケル産業では、電気自動車(EV)の普及に伴いEVで使用されるリチウムイオン電池(LIB)の材料となるニッケルの需要が高まるとい見通しも重なり、鉱山の操業再開や企業買収などが行われた。

その後、ニッケル価格は2023年3月から急速に下がり始め、同年6月には20,000US\$/tをやや上回る水準と、同年1～3月四半期の平均価格である26,300US\$/tから大幅に下落した。その後も価格は続落し、2023年10～12月四半期の平均価格は17,600US\$/t、2024年2月の平均価格は16,400US\$/tと、前年同月比40%減になった。この価格下落は、主にニッケル市場の供給過剰によるものだが、その背景には以下の要素がある。

- ・中国経済が予測ほど回復していないことや、中国を除くアジア及び欧州において金融引き締め政策などにより、世界の建設活動や工業製造が低下の傾向にある。

- ・ニッケル市場で、ニッケル銑鉄(NPI)やフェロニッケルなど比較的安価なClass2ニッケルがインドネシアで大量に生産されるようになったことで過去18か月間に供給過多となり、バッテリーグレードのClass1ニッケルの在庫量を凌ぐようになった。

- ・インドネシアでHPAL製錬所のプロジェクトが積極的に進められていることに伴い、インドネシア産のMHP(ニッケル・コバルト混合水酸化物)やニッケルマットが供給過多となった。MHPやニッケルマットは、バッテリーグレード・ニッケルの中間原料となるが、なおインドネシアは今後、これらの製品を主に

ニッケル製錬所の拡大を進める中国に向けて輸出すると予測されている。

ニッケル価格の急落に伴い、豪州では2023年後半から、ニッケル鉱山の休山やニッケルプロジェクトの休止などが相次ぐようになった。これらの鉱山にはニッケルの価格上昇や需要増見通しを背景に再開した鉱山も含まれている。

3. ニッケル鉱山及びプロジェクトの休止が及ぼす影響

豪州はニッケル輸出量で世界輸出量の16%以上を占めるが、このたびのニッケル鉱山及びプロジェクトの休止に関してはニッケル市場の供給過多が背景であるためか、世界のニッケル供給に影響を及ぼしているという報告や報道は現在のところ見受けられない。

一方、これらの鉱山やプロジェクトの休止は、そのほぼ全てが大幅な人員削減を開始しているほか、鉱山やプロジェクトで生じる需要は地元経済に貢献しており、雇用面および経済面から地元社会に大きな影響を与えると見込まれる。特に雇用面に関してはWA州の雇用数で鉱業雇用数の占める割合が約7%とかなり高いことから、各メディアで大きく取り上げられた。

4. 連邦政府や州政府の対応

連邦政府や州政府は、ニッケルを「脱炭素化に向けたエネルギー移行に貢献する鉱物」として重要視しており、今回、多くのニッケル事業が休山や休止に追い込まれたことについては重く受け止めるとして、様々な対策を講じている。2024年1月25日、連邦政府とWA州政府は、豪州のニッケル企業、WA州鉱物エネルギー会議所(CMEWA)、豪州鉱物資源評議会(MCA)などとの会合をPerthで開き、ニッケル価格の下落に対する取組について話し合いを行った。

4. 1. 連邦政府の取組

連邦政府はこの話し合いに基づき、2024年2月16日にニッケルを豪州の「クリティカルミネラル・リスト」に加え、ニッケル事業が同政府のクリティカルミネラル助成制度を利用することを可能とすると発表した。連邦政府は現在、クリティカルミネラルの事業を対象に、4bA\$の助成枠「Critical Minerals Facility」や40mA\$枠の海外パートナーシップ促進プログラム「International Partnerships Program」などの制度を設けているほか、選鉱事業の共有施設「Critical Minerals Advanced Processing Common-User Facility(CMAP)」の建設計画をWA州政府と進めている。また、連邦政府は2024年5月14日に発表した2024/25年度予算案では、2027/28年度から10年間に7bA\$の予算枠を設けてクリティカルミネラル下流事業の税優遇措置「Critical Minerals Production Tax Incentive」を実施するとしている。(次頁へつづく)

日刊金属LINE公式アカウントでは建値情報などを随時お知らせします。右のQRコードをスキャンしてください。



連邦政府は中期的な取組としては、ニッケルの国際市場において、豪州産ニッケルのように、生産過程で高水準のESG（環境・社会・ガバナンス）が適用されており、温室効果ガス（GHG）低排出であるニッケルを「グリーン・プレミアム」付加の商品として認識する制度が確立されるよう働き掛けていくとしている。

同政府がこの働き掛けを行うこと背景には、「2. ニッケル価格の変動とニッケル事業の動き」の項に記述されるように、今回のニッケル価格下落は主に安価なインドネシア産ニッケルの供給過多があるとされている。

4. 2. 州政府の取組

WA州政府は2024年2月14日、WA州でニッケルを生産する企業の支援策として、これらの企業に対するロイヤルティ課税額を、2024年1～3月四半期から2025年4～6月四半期の18か月間に50%減税とするプログラム「Nickel Financial Assistance Program」を開始したことを発表した。同プログラムは、当該企業の販売するニッケル精鉱に含有されるニッケルのt当たりの価格が、四半期平均で20,000US\$/tを下回った場合に適用される。

TAS州政府は2024年2月8日、Mallee Resources社がTAS州で操業するAvebury鉱山を休山すると発表したことを受け、同鉱山で解雇される予定の従業員やその家族に対する支援策を実施すると発表した。TAS州政府はAvebury鉱山が2022年5月に操業を再開して以来、ロイヤルティや電力使用料の支払いなどに関して支援を行ってきたとしている。

5. 豪州におけるニッケル産業の今後の動きについて

連邦政府の予測によると、ニッケル鉱石やニッケル金属の供給は2029年まで引き続き増加する一方で、需要は今後数年間に減速する見通しであるため、しばらくは供給過多の状態が続く。LME価格は2024年に平均17,000US\$/t、2025～2026年は平均18,000US\$/tと

nikkankinzoku.co.jp

PW NWJ2477779

なるも、2029年までには19,000US\$/tへと回復するとされている。連邦政府や、WA州政府及びTAS州政府などの州政府は、ニッケル事業を対象とする数々の支援策を開始しているが、今後も同様の支援策がさらに増えるのか、またこれらの支援策が現在も操業を継続する鉱山、プロジェクト及び下流施設の事業にどの程度の効果をもたらすのかが注視される。

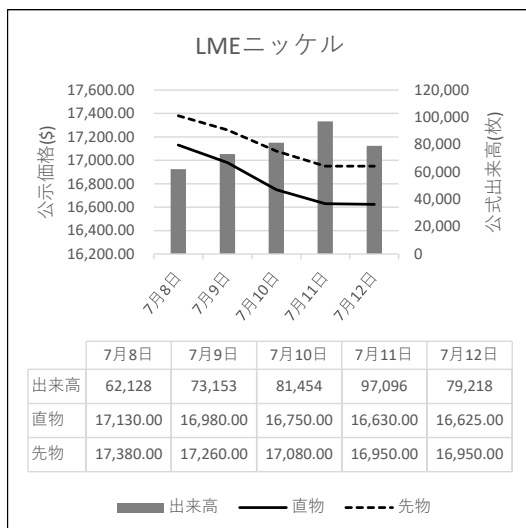
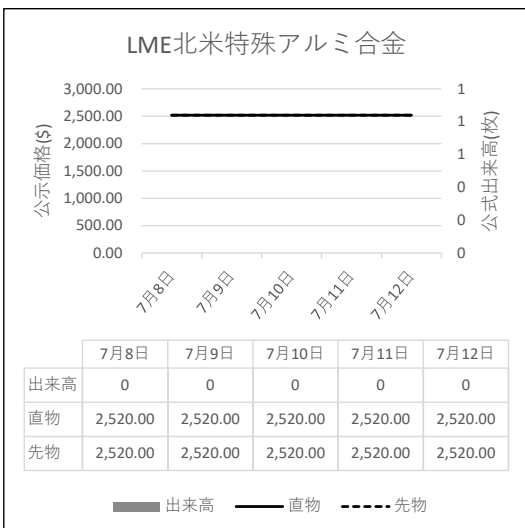
ニューカレドニアでは2024年5月にフランス本国からの独立を主張する政治運動を背景とする暴動が起きており、Societe Le Nickel (SLN) 社20やKoniambou Nickel SAS (KNS) 社、Prony Resources社などのニッケル生産に障害が生じているが、これらの生産障害が豪州のニッケル事業に需給の面で何らかの影響を及ぼすかについての情報や分析も今後重要となると考えられる。

<おわりに>

豪州で生じたニッケル鉱山、プロジェクト及びプラントの休止は、連邦政府や鉱業リサーチ企業などによる「世界的な脱炭素化に伴いニッケル需要が増加する」という見通しに基づき、鉱山の再開やニッケル企業のM&A（合併吸収）が活発に進められていた時期とそれほど間を置かず生じたという特徴がある。休止の原因となったニッケル価格の急落は、安価なインドネシア産ニッケルが供給過剰となったことが背景とされるが、今後、ニッケル市場で豪州産ニッケルのように生産過程がGHG低排出であるニッケルに「グリーン・プレミアム」が付加されるようになるのであれば、需給バランスひいては豪州のニッケル事業に影響が及ぶと考えられるので、国際的なニッケル産業における脱炭素の動きに注目していきたい。

（「JOGMEC カレント・トピックス」おわり）

LME公式値週間推移 7月8日～7月12日(現地)



故銅市況

18日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が

前営業日の9,565.50ドルより32.50ドル安の9,533.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,505.34ドルより15.74ドル安の9,489.60ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,724.00ドルより42.00ドル安の9,682.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,663.50ドルより28.50ドル安の9,635.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場9月限は、前営業日の444.95セントより4.10セント安の440.85セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場8月限は、前営業日の7万9,360元より770元安の7万8,590元。

18日の東京為替市場TTSレートは、前日の159.56円より2.70円の円高ドル安、1ドル=156.86円。18日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,533.00ドル。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(7月17日更新)

直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1302~1307、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1267~1272、並銅は1232~1242、込銅 (高品位=約97%) は1222、セパは892~897。コーペルは要り用筋で833、それ以外は818ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋843、それ以外813~823どころの値頃。並青銅鋳物削粉は1078~1083どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1282~1302、上銅新くずが1247~1267、普通上銅が1222~1242、2号銅線が1214~1234、並銅が1212~1232、込銅(94-97%)が1160、込銅(90-93%)が1162、下銅が745~795、セパが857~892、コーペルが773~818、黄銅棒地が768~813、黄銅削粉が763~808、黄銅ラジが728~736、交叉ラジが724~781、黄銅鋳物が675~682、送りが481~500、上青銅鋳物が1075~1095、並青銅鋳物が1055~1070、上青銅鋳物削粉が1070~1090、並青銅鋳物削粉が1045~1065どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (7月前半)

2S=248円 ~169円、63S=233円 ~284円、アルミホイール(1P)=250円~264円、ビス付サッシ=161円~170円、エンジンコロ=174円~176円、込合金(機械鋳物)=167円~175円、缶プレス(ソフト)=156円~168円。

関西地区 (7月前半)

2S=277円 ~179円、63S=170円 ~304円、印刷版=165円~267円、アルミホイール(1P)=160円~301円、ベースメタル=150円~231円、機械鋳物=165円~169円、ドライ粉=187円~190円、ビス付サッシ=165円~190円、缶プレス=173円~178円。

この値と18日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の158万4,000円より3万1,000円安の153万3,000円。この日、電気銅建値は156万円に据え置かれた。

為替動向

17日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0060ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0930ドル~1.0940ドルで推移した。FRBの利下げが近づいているとの思惑がユーロ買いドル売りを促した。英ポンドも対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0070ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.3010ドル~1.3020ドルで推移。

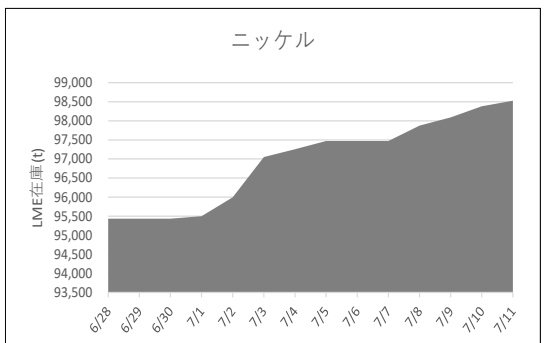
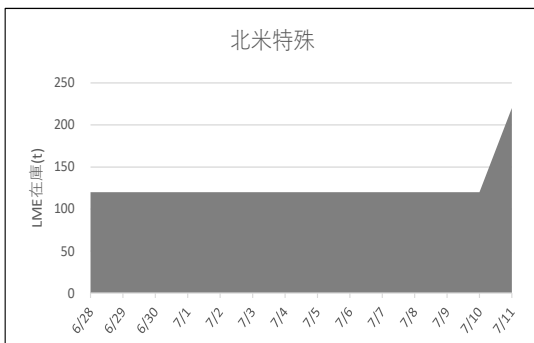
17日のニューヨーク外国為替市場で円相場は3営業日ぶりに大幅で反発。前日と比べ2.05円の円高ドル安、1ドル=156.20円~156.30円で取引を終えた。日米の要人から円安ドル高を牽制する発言が相次ぎ、円売りドル買いの持ち高を縮小する動きが進んだ。FRBの9月利下げ観測も根強く円相場を下支えした。

18日午前の東京外国為替市場で円相場は上昇を一服。10時、前日17時と比べ1.27円の円高ドル安、1ドル=155.80円~155.81円で推移した。凡そ1か月ぶりの円高水準を付けたことから国内実需筋の円売りドル買いが進み円相場の上値は抑えられた。

円は対ユーロでは小動きだった。10時、前日17時と比べ0.97銭円の円高ユーロ安、1ユーロ=170.37円~170.39円で推移した。



LME認定倉庫在庫推移 6月28日~7月11日(現地)





LME銅相場は続落 直物終値は9,489.60ドル 需要低迷への懸念が再燃

COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場も続落

LME非鉄相場はまちまち 直物終値は亜鉛2,782.45ドル、アルミ2,343.46ドル



18日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、17日入電の9,565.50ドルより32.50ドル安の9,533.00ドル。2営業日の続落で1.51%安。この週1.45%の下落。7月に入って0.60%の上伸。3か月物の前場売値も、17日入電の9,724.00ドルより42.00ドル安の9,682.00ドル。2営業日の続落で1.54%安。この週1.42%の下落。7月に入って0.59%の上伸。

LME公認倉庫の現地16日銅在庫は、前日の21万6,475トンより4,625トン増の22万1,100トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、7月限が、17日入電の444.40セントより4.50セント安の439.90セント。3営業日の続落で4.34%安。この週4.34%の下落。7月に入って0.19%の上伸。8月限も、17日入電の443.65セントより4.10セント安の439.55セント。3営業日の続落で4.08%安。この週4.08%の下落。7月に入って0.24%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）の銅相場は、8月限が、17日入電の7万9,360元より770元安の7万8,590元。2営業日の続落で1.33%安。この週0.78%の下落。7月に入って0.63%の上伸。9月限も、17日入電の7万9,580元より810元安の7万8,770元。2営業日の続落で1.32%安。この週0.84%の下落。7月に入って0.65%の上伸。

錫は反発

LME錫相場の前場売値は、直物が、17日入電の3万2,950.00ドルより350.00ドル高の3万3,300.00ドル。4営業日ぶりの反発で1.06%高。この週1.91%の下落。7月に入って0.91%の上伸。3か月物の前場売値も、17日入電の3万3,085.00ドルより275.00ドル高の3万3,360.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.83%高。この週1.75%の下落。7月に入って0.48%の上伸。

LME公認倉庫の現地16日錫在庫は、前日の4,460トンより5トン減の4,455トン。

鉛も反発

LME鉛相場の前場売値は、直物が、17日入電の2,134.00ドルより69.00ドル高の2,203.00ドル。反発して3.23%高。この週3.48%の上伸。7月に入って1.99%の上伸。3か月物の前場売値も、17日入電の2,179.00ドルより38.00ドル高の2,217.00ドル。反発して1.74%高。この週1.60%の上伸。7月に入って0.32%の上伸。

LME公認倉庫の現地16日鉛在庫は、前日の20万9,225トンより1,475トン減の20万7,750トン。

亜鉛は続落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、17日入電の2,861.00ドルより42.00ドル安の2,819.00ドル。2営業日の続落で2.93%安。この週1.78%の下落。7月に入って3.44%の下落。3か月物の前場売値も、17日入電の2,922.00ドルより44.50ドル安の2,877.50ドル。2営業日の続落で2.85%安。この週1.79%の下落。7月に入って3.31%の下落。

LME公認倉庫の現地16日亜鉛在庫は、前日より横ばいの24万6,100トン。

アルミは続落 アルミ合金はまちまち 北米特殊は横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、17日入電の2,377.00ドルより14.00ドル安の2,363.00ドル。8営業日の続落で5.31%安。この週2.44%の下落。7月に入って4.93%の下落。3か月物の前場売値も、17日入電の2,436.50ドルより18.00ドル安の2,418.50ドル。4営業日の続落で2.89%安。この週2.64%の下落。7月に入って4.26%の下落。

LME公認倉庫の現地16日アルミ在庫は、前日の96万5,550トンより1,200トン減の96万4,350トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、17日入電の2,752.00ドルより4.00ドル安の2,748.00ドル。2営業日の続落で0.25%安。この週7.76%の上伸。7月に入って21.59%の上伸。3か月物の前場売値は、17日入電より横ばいの2,560.00ドル。この週8.70%の上伸。7月に入って13.27%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、17日入電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。7月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、17日入電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。7月に入って横ばい。

ニッケルは反落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、17日入電の1万6,435.00ドルより65.00ドル安の1万6,370.00ドル。反落して0.40%安。この週1.53%の下落。7月に入って3.48%の下落。3か月物の前場売値も、17日入電の1万6,725.00ドルより80.00ドル安の1万6,645.00ドル。反落して0.48%安。この週1.80%の下落。7月に入って3.62%の下落。

LME公認倉庫の現地16日ニッケル在庫は、前日の9万9,576トンより2,010トン増の10万1,586トン。

LME公示価格(US\$)／7月17日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,533.00	33,300.00	2,203.00	2,819.00	2,363.00	2,748.00	2,520.00	16,370.00
	前営業日比	▲ 32.50	350.00	69.00	▲ 42.00	▲ 14.00	▲ 4.00	0.00	▲ 65.00
先物	公示価格	9,682.00	33,360.00	2,217.00	2,877.50	2,418.50	2,560.00	2,520.00	16,645.00
	前営業日比	▲ 42.00	275.00	38.00	▲ 44.50	▲ 18.00	0.00	0.00	▲ 80.00

海外非鉄金属相場

(7月18日 入電・現地 7月17日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5 トン、アルミ合金20トン、ニッケル6 トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows include: 銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, NY コメックス相場.

フリー・マーケット
■米国生産者価格(地金)
銀(セント/オンス) EH社 3100.0 (10.0)
銀(セント/オンス) HH社 3031.8 (▲104.7)

■NY相場
取引業者銅(セント/ポンド) 256.35 - 257.35
2号銅線くず(セント/ポンド) 353.35 - 357.35

■ロンドン相場(ドル)
金(オンス) 2480.25 (37.05)
アンチモン99.65%(トン) 22000 - 23000
ビスマス99.9%(ポンド) 6.50 - 7.00
カドミウム99.99%(ポンド) 1.90 - 2.20
インジウム99.99%(キロ) 350.00 - 385.00
セレンウム99.5%(ポンド) 11.00 - 12.50
スポンジチタン99.5%(キロ) 13.00 - 13.00
フェロモリブデン欧州産65%(キロ) 47.50 - 48.50
コバルトカソード99.8%(ポンド) 12.50 - 13.50
マグネシウム中国産99.9%(トン) 3250 - 3250
タングステンAPT(純分10キロ) 330.0 - 340.0
 tantalum 30-35%(ポンド) 75 - 75

■K L T M 錫 (MYR/KG、出来高トン)
(17日) (18日)
相場 - -
出来高 - -
ドル建て価格 - -
O D レート 3.7600 3.7600
M \$ / U S \$ レート 4.6737 4.6664
採算円/キロ - -
U S \$ 採算円/キロ - -

■LME在庫(トン)
在庫 増減
(7/16現在) 銅 221,100 6,150
錫 4,455 20
鉛 207,750 ▲2,250
亜鉛 246,100 ▲1,375
アルミ 964,350 ▲5,175
アルミ合金 1,560 -
北米特殊アルミ合金 220 -
ニッケル 101,586 444

■上海在庫(トン)
在庫 増減
(7/12現在) 銅 316,108 ▲5,534
アルミ 262,200 18,180
亜鉛 125,892 ▲805
鉛 59,408 3,242
ニッケル 20,874 ▲616

■LMEプレマーケット(ドル)
先物気配
(7/18) 銅 9,629.5 - 9,631.0
アルミ 32,800.0 - 32,920.0
(5:00PM現地) 鉛 2,187.0 - 2,188.0
亜鉛 2,837.5 - 2,839.0
アルミ 2,402.0 - 2,402.5
ニッケル 16,500.0 - 16,515.0

■上海相場
トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込
銅 アルミ 亜鉛 鉛 ニッケル
8月限 78590 19760 23960 19805 132350
9月限 78770 19790 24015 19455 132710
前日比 ▲770 ▲105 ▲360 85 ▲910
出来高 89546 64416 127111 92406 14263

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

※18日のKLTMは入電がありません。

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows include: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

非鉄金属製品相場

(7月18日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪		東京		鉛亜鉛製品	大阪		東京		電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)		
	大阪	東京	大阪	東京		大阪	東京	規格	長さ	価格		
銅小板2.0ミリ	1880	1865	亜鉛板0.3×3×7	650	650	V V F						
建築用0.3ミリ	1930	1915	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750				2C×1.6	69~71		
銅大板2×1×2	2010	2065	給水管13ミリ	280	280				2C×2.0	121~124		
銅管(ベース)	1940	2065	鉛板1.5ミリ	600	600				3C×1.6	127~130		
水道用管(m当たり)13ミリ	1910	2035	鉛線3ミリ	430	430				3C×2.0	175~178		
銅棒25ミリ	1790	1835	軽圧品		大阪	東京	I V					
銅条1.5×100	1845	1880	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175				1.6mm	41~43.6		
銅線0.9ミリ	1870	1895	// 小板1ミリ	795	805				5.5sq	113~120		
銅帯6×50	1750	1835	// 大板1ミリ	775	795				14sq	283~301		
銅平角線	2070	2065	// 5052板	835	845	CV-T						
黄銅小板2.0ミリ	1535	1515	// 6061板	1360	1375				600V 3C×38	2172~2308		
// 0.3ミリ	1565	1545	// 2017板	1290	1405				600V 3C×60	3366~3578		
黄銅大板2×1×2	1685	1695	// 線3ミリ	775	790				600V 3C×100	5640~5995		
黄銅管	2015	2085	// 快削棒50ミリ	995	1010				6kV 3C×38	3357~3556		
復水器用黄銅管	1985	2055	// 合金棒50ミリ(17S)	980	990				6kV 3C×60	4767~5050		
黄銅棒快削25ミリ	1280	1300	// 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV					(関西-関東)	
六角棒	1310	1330	貴金属(一般小口向け)						3C×2	157-161		
四角棒	1340	1360	白金(グラム)		◆5592				4C×2	211-216		
鍛造用	1320	1340	パラジウム(グラム)		◆5593				6C×2	303-310		
ネーバル	1420	1440	金(グラム)		◆13579				7C×2	348-356		
高力	1420	1440	銀(キログラム)		◆170610	合金鉄					5月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1720	1695	レアメタル輸入価格			5月通関 (CIF)			フェロマンガ2%以上炭素含有	166		
黄銅平角線ロール仕上	1920	1905	金属ケイ素(99.99%未満)		355			// その他	214.9			
黄銅条1.5×100	1530	1530	モリブデン酸化物		5073			フェロシリコン55%以上	250			
リン青銅板一般用1.0ミリ	3270	3260	タンタル		58412			フェロクロム4%以上炭素含有	246			
// パネ用0.3ミリ	3520	3520	マグネシウム		413			フェロモリブデン純分60%以上	4995			
リン青銅棒25ミリ	3340	3350	コバルト		4954			フェロバナジウム	3185			
リン青銅線3ミリ	3780	3790	インジウム		33934			フェロニッケル33%未満	501.5			
洋白板一般用1.0ミリ	3680	3830	減摩合金			7月16日改定			電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326		
// パネ用1.0ミリ	3830	4000	銅合金地金		7月1日発表							
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)		大阪							
1種	6605		BC 1種	1570								
2種	6440		2種	1975								
3種	6265		3種	2075								
4種	5560		6種	1735								
5種	5125		7種	1845								
7種	2000		YBSC 3種	1370								
8種	1790		LBC 3種	1980								
9種	1495		PBC 2種	2110								



https://home.nikkankinzoku.co.jp/

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(7月18日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		66,000 ~ 73,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値			
1 号 銅 線	1397	1400	電 気 銅	◆1491	◆1486	◆1493	◆1488	山元建値	電気銅	1560(17)	金	12,372(18)
2 号 銅 線	1355	—	電 気 亜 鉛	◆459	◆453	◆459	◆453	() 実施日	電気鉛	405(17)	銀	153,900(18)
上 銅 (新 切)	1368	1363	蒸 留 亜 鉛	◆447	◆441	◆447	◆441		電気亜鉛	493(18)	錫(99.99%)	6,700(1)
雑 ナ ゲ ッ ト	1198	1197	再 生ダイカスト亜鉛2種	◆387	◆381	◆387	◆381					
並 銅	1310	1293	再 生 亜 鉛 (98%)	◆342	◆336	◆342	◆336					
下 銅	1291	1265	電 気 鉛	384	381	384	381					
銅 削 粉	1271	1265	再 生 鉛 1 号	366	356	357	352					
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	371	367	362	358					
新 切 黄 銅 セ パ	1037	1048	錫 1 号	5500	5450	5500	5450					
コ ー ベ ル	1001	1004	ア ン チ モ ン	2400	2350	2400	2350					
黄 銅 棒 地	979	992	ニッケル(メッキ用)	2700	2650	2700	2650					
黄 銅 削 粉	973	987	コ バ ル ト	5000	4700	5000	4700					
並 黄 銅	930	910	セ レ ニ ウ ム	4100	3900	4100	3900					
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	840	824	ビ ス マ ス	1600	1500	1600	1500					
交 叉 ラ ジ エ タ ー	878	861	カ ド ミ ウ ム	800	750	800	750					
黄 銅 鑄 物	935	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450					
山 送 り (55%)	530	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	◆415	◆411	◆417	◆413					
上 青 銅 鑄 物	1112	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	370	365	370	365					
並 青 銅 鑄 物	1110	1101	〃 90 %	345	340	345	340					
上 青 銅 鑄 物 削 粉	1105	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	359	354	362	357					
並 青 銅 鑄 物 削 粉	1095	1085	鑄 物 用 C2BS	484	479	486	481					
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1394	青 銅 合 金 地 金 3 種	1910	1900	1940	1930					
〃 (鑄 物)	1226	—	〃 6 種	1640	1630	1640	1630					
リ ン 青 銅 削 粉	1144	1139	ハ ン ダ 錫 60 %	4135	4095	4155	4125					
新 切 洋 白 (電 子 材)	1156	1146	〃 50 %	3570	3520	3590	3560					
新 切 亜 鉛	◆267	◆267	〃 40 %	3065	3005	3020	2990					
ダイカストくず	◆184	◆184	減 摩 合 金 2 種	5930	5900	5935	5905					
亜鉛ドロス	◆164	◆174	〃 4 種	5090	5065	5095	5065					
上 鉛	221	219	〃 7 種	1730	1680	1730	1680					
電池素鉛ケース込	88	88	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		90	90					
活 字 鉛	203	200		〃 ダライ粉		75	75					
新 切 ア ル ミ 1 級	300	308		高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316		270	270					
新 切 サ ッ シ 1 級	◆305	306		耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310		375	375					
新 切 合 金 1 級	◆293	291		13クローム 新切		35	32					
機 械 鑄 物 1 級	239	252		ハ イ ス 9 種		180	180					
ビ ス 付 サ ッ シ P	◆248	252										
合 金 削 粉 P	◆193	194										
込 ガ ラ P	161	165										
カ ン ・ バ ラ	◆220	216										

